

テクニカル・データ

本体 幅	Machine total width	2000 mm
本体 奥行き	Machine total length	2110 mm
本体 高さ	Machine total height	2112 mm
本体重量	Net weight	1500 kg

コンベアベルト挿入高さ	Height of conveyor belt	921 mm
加工物最大高さ	Max. part height	30 mm※1
加工物最大幅	Max. part width	1000 mm
加工物最小幅	Min part width	50×90mm※2

ブラシ挿入軸長さ	Spindle length	324 mm
ブラシ取付個数	Number of spindles	6
ブラシ回転スピード	Spindle speed	400~200 rpm
ブラシ旋回スピード	Rotation speed	5~6 rpm
ベルトスピード	Conveyor belt speed	0.3~1.2m/min

ブラシ回転モータ	Main motor	3.75 kw
ブラシ旋回モータ	Rotation motor	0.75 kw
コンベアモータ (サーボ)	Conveyor belt motor	2.25kw (OUTPUT)
昇降モータ	Main spindle lift motor	0.4 kw
送風機モータ	Vacuum turbine motor	15 kw
送風機風量	Air capacity	80 m3/min
集塵吸込み口	Extraction tube	φ250 mm

供給電圧	Voltage	3φx220 V 50/60Hz
電源設備容量	electrical power plant capacity	25.9KVA※3
消費電力	electricity consumption	17.5kwh※3
接地 (アース)	Grounding	D種 (第3種)
運転音 (騒音)	Sound level	75~86dB
周囲温度 (動作時)	Ambient temperature	5~40℃※4
周囲温度 (待機・保管時)	Ambient temperature	-10~50℃

※1. ブラシ摩耗量 (毛の長さ) により 30mmは加工出来ません。(板厚は 20mm です。)

※2. 形状、板厚等によりサイズは異なります。(加工方法、治具等により対応可能です。)

※3. マシン本体+集塵機 (3.7kw 標準仕様) の電力を含む値です。

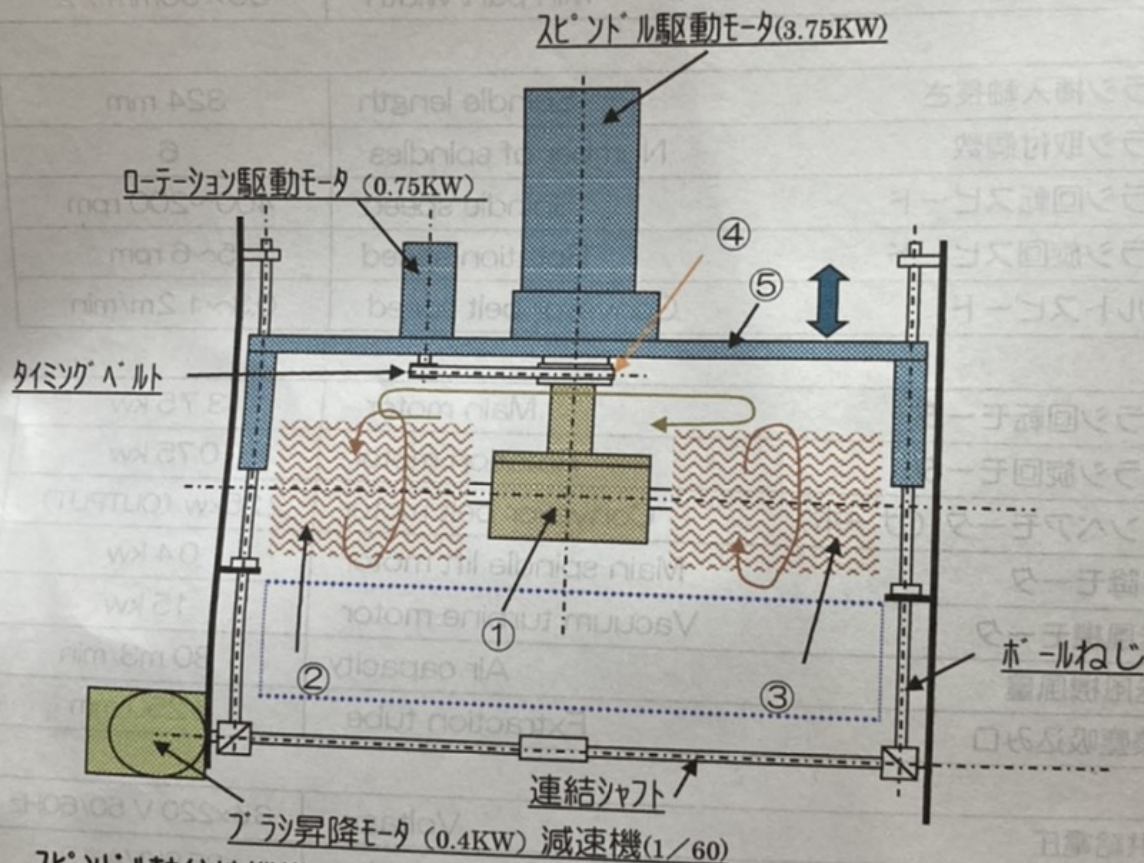
※4. 冬季期間の場合は、本稼働前に暖機運転 (10~15 分) が必要です。(21 頁参照)

本体構成

本装置はバリ取りを行うブラシ研磨部と、ワークをベルトに真空吸着する搬送部により構成します。

ブラシ研磨部は、下記により構成します。

- ① スピンドル軸分岐機構(ブラシ回転)
- ② 研磨ブラシ (CW)
- ③ 研磨ブラシ (CCW)・・・上記と同じもの。矢印方向に注意
- ④ ローション機構(ブラシ旋回)
- ⑤ 昇降ベース



スピンドル軸分岐機構はローテーションする外輪の内部に構成されています。又、内部にある摩擦リングが長時間の使用により磨り減って来るとすべりが生じます。

調整・交換方法等については、別途に説明します。(詳細⇒ P21)

研磨ブラシは消耗品です。消耗すると回転時の外径が痩せて来ますので、都度高さを見直す必要があります。ブラシ先端がベルトに接触してから2~3mm下げた位置が高さ原点の目安です。ブラシ交換方法は別途説明します。(詳細⇒ P20)

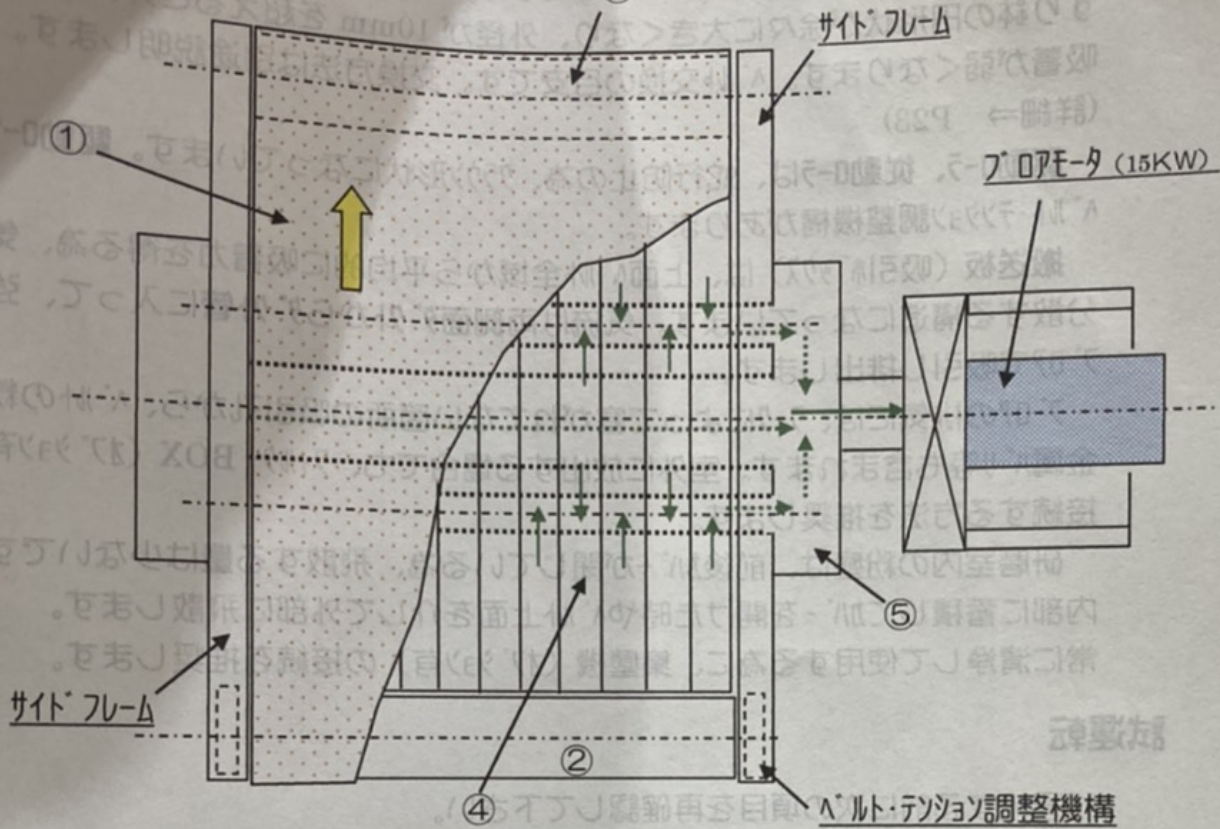
ローテーション機構はスピンドル軸分岐機構全体を把持する構造で、昇降ベース上に組立てられています。回転はタイミングベルトで伝達します。

昇降ベースは左右に連結したボールねじを介して行われます。

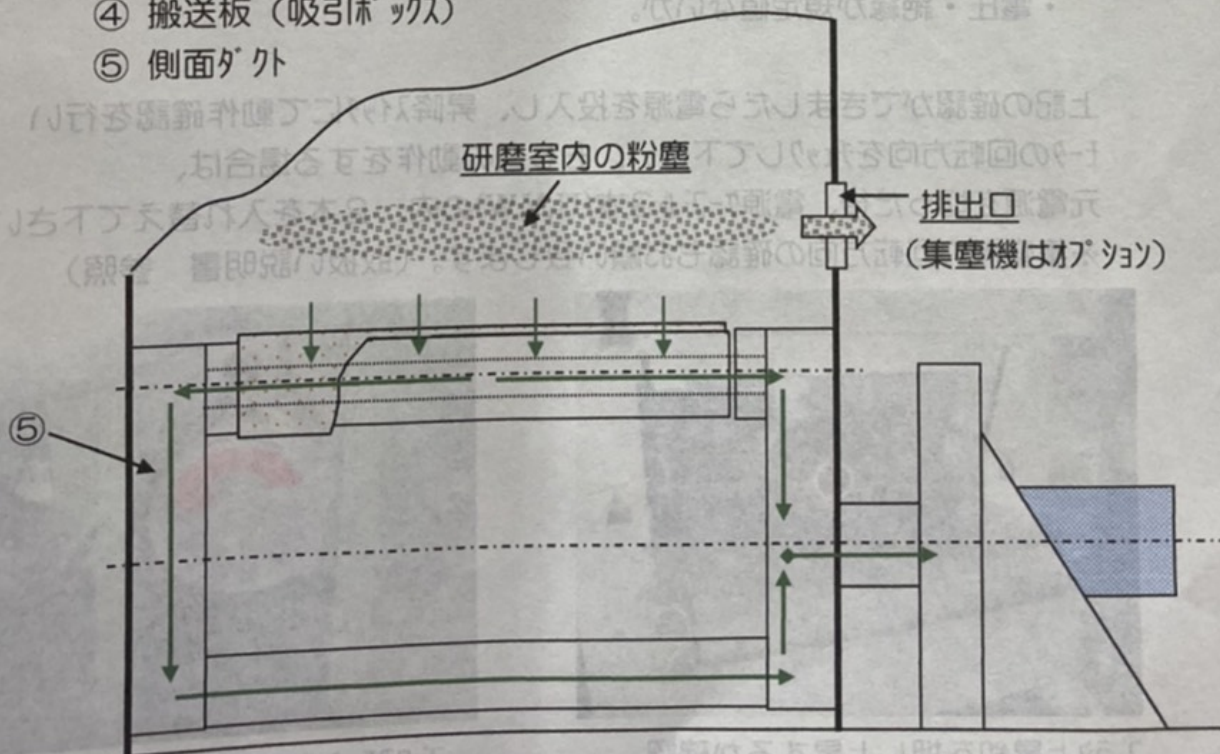
上限/下限はリミットスイッチにより停止します。

搬送部は、下記により構成します。

- ① 搬送ベルト(図の矢印は搬送方向を示します)
- ② 駆動ローラ
- ③ 従動ローラ
- ④ 搬送板(吸引ボックス)
- ⑤ 側面ダクト



- ③ 従動ローラ
- ④ 搬送板(吸引ボックス)
- ⑤ 側面ダクト



搬送ベルトは、インクタイプで3.5φの吸引孔が流れ方向25mmピッチ、ベルト幅方向23mmピッチに並べられています。3～4年の使用で吸引孔を中心にしてすり鉢状に磨耗してきます。すり鉢の円形状が徐々に大きくなり、外径が10mmを超えると外れた箇所の吸着が弱くなります。ベルト交換の目安です。交換方法は別途説明します。(詳細⇒ P23)

駆動ローラ、従動ローラは、蛇行防止の為、クランク形状になっています。駆動ローラ側にベルト・テンション調整機構があります。

搬送板(吸引ホック)は、上面ベルト全域から平均的に吸着力を得る為、気流が分散する構造になっています。気流は両側面ダクトからダクト外管に入って、強力なブローで吸引し排出します。

ブローの排気には、ワークによって塞がれてない箇所の吸引孔から、ベルトの粉塵や金属バリ等も含まれます。室外に放出する場合でも、フィルターBOX(オプション有)を接続する方法を推奨します。

研磨室内の粉塵は、前後カバーが閉じている為、飛散する量は少ないですが、内部に蓄積してカバーを開けた時やベルト上面を介して外部に飛散します。常に清浄して使用する為に、集塵機(オプション有)の接続を推奨します。

試運転

試運転する前に次の項目を再確認して下さい。

- ・据付状態にガタツキなどの異常がないか。
- ・電圧・絶縁が規定値ないか。

上記の確認ができましたら電源を投入し、昇降スイッチにて動作確認を行いモータの回転方向をチェックして下さい。もし逆の動作をする場合は、元電源を切った後、電源ケーブル3本(U,V,W)の内、2本を入れ替えて下さい。
※集塵機の回転方向の確認もお願い致します。(取扱い説明書 参照)



ブラシ上昇釦を押し上昇するか確認



ブローモータの回転確認(右回転)

湿式集じん機

AMA SERIES

AMA50

取扱説明書

2. 集じん機的主要仕様

項 目	仕 様
電 源	AC200/220V 30A 3相 2P
送風機出力 (kW)	3.7
基準風量 (m ³ /min.)	50
送風機最大静圧 (kPa)	2.4 (50Hz) / 2.5 (60Hz)
水タンク容量 (L)	約 180
NMF (メカニカルエアフィルター) (mm)	縦 500 × 横 500 × 厚さ 36 × 2 枚
吸気口径 (mm)	φ 250
排気口径 (mm)	φ 250
本体最大寸法 (mm)	幅 1220 × 奥行き 1205 × 高さ 2123
総質量 (水含まず) (kg)	370

3. 標準付属品

品 名	規 格 ・ 図 番	数 量
粉じんかき出し用具		1 本